倒された直後は部隊全体を見る

PUBG 陣営対戦を遊ぶ人向けのハンターギルドの回り方を実戦的に練習する MOBILE V4.6「血の覚醒」では、倒された後に通常の復活を残すか、ヴァンパイア陣営へ移るかの判断が勝敗を左右します。を確認しながら、味方の生存人数、復活経路、敵の位置、次の安全地帯を短く共有してから選びましょう。

人間側へ戻る条件を決める

味方が複数生存し、安全に合流できる場合は、武器と射程を維持できる人間側の復活が安定します。狭い建物を守れている時や、遠距離から射線を通せる時も、急いで陣営を変えずに部隊の形を保つ方が有利です。

ヴァンパイア化は再攻撃の形を作る

最後の味方が包囲されている、近くに同陣営が集まっている、開けた場所の射線を能力で越えられる場合は、ヴァンパイア化を検討します。単独で元の戦闘へ戻るのではなく、合流地点と攻撃方向を決めて人数差を作り直します。

4スキルは目的を分けて使う

クローは近距離の主攻撃、吸収は戦闘後の立て直し、感知は建物や高低差にいる人間の確認、変身は射線を越える移動や離脱に使います。変身の無敵中に攻撃を急がず、解除後に遮蔽物へ入れる経路を先に選んでください。

人間側は解除直後へ照準を合わせる

ヴァンパイアを一人で追わず、二人以上で同じ射線を作ります。変身中に弾を使い切らず、解除地点へ照準を置きます。感知された後は同じ角に残らず、上下階や別の出口を使って距離を作り直しましょう。

PvEは支援個体と周囲警戒を両立する

シールドを持つ敵がいる場合は、強化や連携を支える個体とエネルギー球を先に確認します。全員で報酬箱を開くと他部隊に狙われやすいため、三人が処理と回収を進め、一人が入口と接近する敵を監視する形が安全です。

特殊アイテムは帰路まで残す

移動、回復、召喚、防御に使える特殊アイテムは、入手直後に試し切らず、次の安全地帯へ入る手段を残します。通常装備との役割が重なる場合は、部隊全体の回復、投擲物、車両が不足しないよう持ち物を調整します。

有料要素はモードと分けて考える

陣営対戦を遊ぶことと、衣装や武器スキンへUCを使うことは別に判断します。ゲーム内で開催状況、地域表示、必要UC、確定入手条件を確認し、本命が決まるまでは予算を増やさないようにしましょう。

人間側とヴァンパイア側の判断、4スキル、PvE中の警戒、特殊アイテムの使い方を案内します。